

令和7年度 第2回学校関係者評価委員会

1 日 時 令和8年2月19日(木) 15:30~16:45

2 場 所 本校視聴覚室

3 出席者 学校関係者評価委員6名, 本校職員19名

4 内 容

- (1) 開会のことば(総括教頭)
- (2) 校長あいさつ(学校長)
- (3) 本年度の活動状況等について(各課程教頭)
 - ・資格取得状況
 - ・部活動状況
 - ・ボランティア活動状況
 - ・各部反省(教務・生徒支援・進路支援・保健)
 - ・学校評価アンケート結果(生徒・保護者, 本校職員)
※通信制課程の生徒評価は次年度第1回で報告
- (4) 質疑・意見交換
 - ・各委員より感想

[今吉委員]

先生方が一生懸命してくださっていることが結果を見てわかった。3課程あり, 教育が難しいなか, それぞれお互いに協力・連携しているのが良いなと思った。先生方には, 今後も見守りながら成長をサポートしてほしい。

[玉利委員]

中学校から見た進路指導を話したいと思います。

今年度, 高校の雰囲気や入試制度が大きく変わった1年だったと感じている。特に, 10月以降に行われる部活動関係のお話が, 高校サイドと中学校の受け取り方のギャップが大きな課題に感じている。鹿児島市内の校長会でも話題となり, 教育委員会に要望書も出した。

また, 谷山中に限っていえば, 公立と私立の志願者が変化している。そして, 私立の合否も厳しくなっている。志願者が変化している要因は, 就学支援金と分析している。

また, 単位制の学校のニーズが上がっているのか, 志願者も多くなっているように感じる。～キャンパス, ～学院などの資料も届く。

3月12日, 不合格者内示がないことが高校入試の大きな転換期となっていると感じ, どのような形になるのか, 不安でしかない。このようなことを踏まえ, 開陽高校に与える影響はあるのだろうか。

→校長より

本校は, 以前より自己推薦入試を実施しており, 入試において大きな変化は感じていない。また本校は, 単位制であり, 全体の傾向をみるのではなく, 生徒1人1人を大切に指導している。

[福德さん]

資格・部活動も頑張っていると感じた。開陽高校だけでなく, 地域の学校の皆さんが安心安全に登下校できるよう, 見守りをしていきたい。生徒達の夢を実現するために, 先生方, 変わらぬご指導をお願いしたい。

[田實さん]

生徒の頑張り先生方の丁寧な指導がわかり、家庭で何ができるかを考えたいと感じた。

定時制のセイフティボックスの購入がすばらしいと感じた。防災意識を向上させる指導をしていただいている。定時制は、セイフティボックスの経費はどこからしているのか？

このセイフティボックスに興味を持った。また、全日制でも話題にしてみたい。

→定時制より

振興会費、来年度からは自費購入予定？

[佐野さん]

まだ振興会長となり1年もみたないが、少人数の授業の中、今年度は中間年次の人数が増えているように感じている。教職員の数が増えてほしいと思っている。中間年次が増えているのか？

学校行事の中に遠足があり、今年度朝からの実施だった。遠方から登校している生徒は、朝早く起きて登校しなければいけないプレッシャーがあるように感じる。対策を考えてもらえないか。

→定時制より

全体140、卒年次26、中間年次64、入学年次52

[牧さん]

保護者の自由記述欄を読んで温かい気持ちになった。

また1月に新聞に掲載された通信制の山下くんのように高校は勉強だけでなく、ボランティアや部活、アルバイトなど様々なことが学べる場所である。アンケート結果の「0」意見にも耳を傾け、意見を聞くことも教育活動をするうえで大事だと思う。